

2013年6月 地域自然情報研究会



環境容量からみた日本の未来可能性

大西 文秀 氏 (ヒト自然系GISラボ)

生きものは、自らの棲みかを大切にしますが、ヒトは、逆に環境問題を引きおこしてきました。今、ヒト・自然系を見直すことが求められています。

先般、「ヒトと自然の関係の可視化を目指し、日本の環境容量をマップ化した書籍の出版」により、第12回環境情報科学センター賞を受賞し、「今後の持続型社会の構築に向けて、この成果は環境情報科学に対する進歩発展への方向性を示したものである。また一般市民にもわかりやすい方法で編集されている点からも、社会に対する影響力や貢献度の面において高く評価できる」との励ましをいただきました。

今回は、受賞書籍の『環境容量からみた日本の未来可能性』をもとに、ヒトと自然のバランス・環境容量の厳しい現状や課題、これからの国土や社会や生活のあり方についてお話しします。

開催日時

2013年6月15日(土) 14:00~15:30

参加費

500円(ただし、GCN会員は無料)

お申し込み・お問い合わせ

お名前、ご所属、ご連絡先メールアドレスをご記入の上、下記までご連絡下さい。

mail: gcnken@gmail.com

FAX: 03-5357-7394

NPO法人 地域自然情報ネットワーク

研究会事務局

(担当: 井本・梶並)

会場案内

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室
(エコギャラリー新宿)



地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、概ね月1回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。



NPO法人

地域自然情報ネットワーク

The Geoeological Conservation Network

**NPO法人地域自然情報ネットワーク (GCN) は
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します**

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。

<http://www.geo-eco.net/index.html>